

二本松

国際交流で会談

黒川、宇田氏が市長表敬

国会東京電力福島原子力発電所事故調査委員会（国会事故調）の委員長を務めた政策研究大学院大学教授の黒川清氏と調査統括を務



二本松市の国際交流状況について新野市長と会談した黒川氏（中央）と宇田氏

めたビジネス・ブレイクスルー大学経営学部長・教授の宇田左近氏は27日、二本松市役所を訪れ、新野洋市長を表敬した。

宇田氏は、旧二本松藩丹羽家の御用掛、藩校教官等を務めた宇田家の子孫で、日本で初めて俳句で博士号を取得した宇田零雨は大祖父にあたる。宇田氏は同日までに最新著「なぜ、『異論』の出ない組織は間違っているのか」（PHP研究所、税別1500円）を出版した。

黒川氏が敬愛する二本松市出身の歴史学者朝河貫一

博士を顕彰するため、本書の著作料は、同市の若い人たちの国際交流のために寄付されることになっていることから、同市の国際交流状況などについて会談した。

新野市長は両氏に朝河博士の縁で友好都市を結んでいる米国ニューハンプシャー州ハノーバー町との交流状況などを説明。両氏は朝河博士ゆかりの交流を有効に活用し、市外にもっとPRすべきなどと話した。新野市長は「元気で活力ある二本松市づくりに向けて今後、ぜひ前向きに検討していきたい」とした。